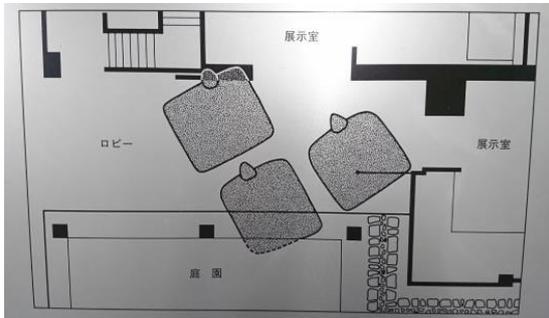


ロビーの床の模様はなに？

0_01_01



床の模様は、品川歴史館を建設するときに発見された、5世紀末から7世紀末に営まれた住居の跡があった場所を示しています。四角い部分は家の範囲、丸い部分は^{かまど}竈の位置です。この住居跡を含む遺跡を、^{おおいかしま}大井鹿島遺跡といいます。また、庭園には住居跡を復元しています。

ビジュアルシアター「浮世絵 しながわ紀行」

毎時30分に、浮世絵を用いた映像が約6分間スクリーンに映し出されます。

けたぶね
桁舟を漕ぐ櫓

0_01_02



全長約7メートル。かつて品川沖で使用されていました。